

村士淡齋

すぐり・たんさい

福山藩儒

経歴

生:元禄3年(1690年)

没:安永元年(1772年)8月5日、享年82歳、駒込大圓寺に葬る

—	—	三宅尚齋に学ぶ
—	—	阿部正右(福山藩主・第3代)に仕える
—	—	原田平八に茶事を学ぶ

生い立ちと学業、業績

村士淡齋、名は宗恒、弥十郎、彌左衛門と称した。諱は宗恒・宗殖。号は淡齋・不厭菴(不厭庵)。村士はもともとが渡来系である。

江戸の人で、三宅尚齋に師事し山崎闇齋派の学統を伝えた。

学成って、阿部正右(福山藩主・第3代)に仕え、江戸に住んだ。また茶事を原田平八に学び、不厭菴の号で名をなした。

明和9年(1772年)8月歿、享年82歳。駒込大圓寺に葬る。

遺稿に『淡齋文集』若干巻がある。

その子は村士玉水で、父の業を継いだ。

誠之館所蔵品

管理No.	氏名	名称	制作/発行	日付
03719	村士淡齋 書	扁額「繡書友聖賢」	—	江戸中期か

t0240	村士淡齋 書	五言律詩「未計幾年」	—	—
t0270	村士淡齋 書	書「精華」	—	—

出典1:『福山藩の文人誌』、45頁、濱本鶴賓著、葦陽文化研究会編刊、1988年7月27日

出典2:『福山藩の教育と沿革史』153頁、清水久人著、鷹の羽会本部阿部正弘公顕彰会編刊、1999年8月20日

出典3:『福山の今昔』、155頁、濱本鶴賓著、立石岩三郎刊、大正6年4月26日

2006年10月12日追加●2006年10月19日更新;氏名(社士→村士)・所蔵品(社士→村士)●2006年12月11日更新:本文●2007年4月16日更新:本文●2007年5月7日更新:本文●2009年6月9日更新:本文・出典●2009年6月29日更新:本文●2010年3月18日更新:経歴・誠之館所蔵品・出典●2010年6月2日更新:誠之館所蔵品●2010年6月3日更新:誠之館所蔵品●